

間違わない補聴器の選び方・着け方(3)

博士補聴器 代表 由井宏知

最新の補聴器が出来ること

補聴器は100年以上、処理できるようになり、に亘るその歴史の中で、品質や性能が向上し、洗練され、小型化されてきました。特にここ約20年で科学技術の進歩と共に急速に進化し、アナログ補聴器では決して出来なかつた、より効果的に言葉を聞き取りやすくする音の処理が可能になってきています。性能向上により、最新の補聴器に買い換えることでより聞こえが良くなつたと感じる方も多くいらっしゃいます。

補聴器には言葉を聞き取りやすくするためのデジタル信号処理を行う小型コンピュータが入っており、パソコンのように年々性能が向上しています。その処理速度が高速になるほど、沢山の音情報により速く、より細かく分類

処理できるようになり、ピーピー鳴るハウリング音はもちろん、言葉と言葉の間にある会話に不要なノイズさえも抑えたり、適応型指向性マイクにより、適切に会話にフォーカスしたりすることが可能になっていきます。更に特定の周波数の音を別の周波数帯に移転させたり圧縮したりすることで、聴力によつては聞き取りにくい音を聞き取りやすくする機能も有ります。

〈充電式補聴器〉

過去にも充電式のものがありました。が、電池容量の問題でバッテリーの持ちが悪く普及には至りませんでした。新しい充電式の補聴器は携帯電話と同様に国産のリチウムイオンバッテリーを採用することで電池持ちが改善し、普及し始めています。充電

器も補聴器を置くだけで充電できるなど使い勝手がよくなりました。充電式は電池交換の手間がなくなるだけでなく、開口部が少なくなることで防水性能も向上します。

IoT時代の補聴器
スマートフォン連携や遠隔調整サービス

今話題のIoT

Internet of Things)対応補聴器も既に市販されています。スマートフォンや他のインターネット接続機器との連携で様々な機能を利用できるようになりました。例えばお子様の補聴器の電池が切れると保護者の携帯にメッセージが届いたり、自宅のテレビをつけると自動で補聴器の音や照明がテレビ用の設定に切り替わったり、補聴器を紛失した場所を特定する

こともできます。また、補聴器技能者とインターネットを介して情報をやり取りし、店舗に行かずとも補聴器の調整ができる遠隔調整サービス対応補聴器も登場しました。(ご利用いただくには店舗にて聴力測定、試聴、初期のある程度の調整が必要で

補聴器は日々進化し続けています。それぞれの特徴を持った補聴器の中からご自身の生活スタイルやニーズに合ったものを選択し、より便利に快適に生活していただければと思います。

